

「デジトレ診断」を使って中小企業の デジタル化支援をスピードアップ ～「デジトレ診断」を使ったデジタル化の支援事例～

デジタル化支援工程をスピードアップする手法のセミナーです。中小ビジネス経営者がデジタル活用度をセルフチェックできるツール「デジトレ診断」を使った支援の手法をお伝えします。支援先の現状把握に「デジトレ診断」を使い、診断結果から次のアクションにつなげるまでをセミナーを通して学んでいただけます。

ITCが開発、「デジトレ診断」使いこなし講座 2022



講義 1 日目

講義 2 日目

実践フォロー

デジトレ試行
1日目▶2週間後デジトレの自己実践
2日目▶1カ月後

日時 ※本講座は3時間／日の3日間コースとなります

【第5回】【1日目】 2/3(金) ▶2/17(金) ▶3/24(金) 13:00～16:00

研修形式 : オンライン受講型ZOOM

受講費(税込) : 会員 : 33,000円 ITC : 49,500円 一般 : 66,000円

※受講料の他に前提条件の書籍代(税込1,980円)が必要となります

実践ポイント : 3時間×3回／4.5ポイント

前提条件 : 書籍「中小ビジネスを伸ばすデジタル5つの活かし方」各自負担で事前購入
2回目終了後から3回目開始までにご自身でデジトレツールを実践していただきます。

受講特典 : 講義終了後、デジトレ診断を3カ月間利用可能

デジトレ診断 支援者プラン「プラン3」(税込6,000円)を無償提供します。

お申込み・詳細はこちらから

https://www.itc.or.jp/foritc/seminar/dejitore_2022.html



お問い合わせ

特定非営利活動法人ITコーディネータ協会
ITCA研修事務局 TEL: 03-3527-2177



講師：堀明人氏 合同会社デジトレ代表社員 ITコーディネータ

情報通信業界で情シス・マーケ・営業と一貫して企画畑を歩む。米国留学・英国勤務をきっかけに自分らしく生きるライフスタイルに強く共感し独立。以来15年に渡り、ICTベンダーの事業戦略サポート、中小ビジネスのデジタル活用支援、スマート農業の推進など、様々な事業者のビジネス拡大をサポート。「日本の中小ビジネスのデジタル経営スピードを最速にし、デジタル経営幸福度を最幸にする。」をビジョンに掲げて活動中。観光ブルーベリー園を営む兼業農家でもある。

飯村和浩氏

合同会社デジトレ ITコーディネータ

製造業・サービス業を中心にIT戦略、業務改革に伴うIT導入プロジェクトに従事。現在、株式会社アストコーポレーションに所属し、2020年に合同会社デジトレの創業に参画

倉田一範氏

合同会社デジトレ ITコーディネータ

ITベンダー企業にて15年間に渡り大中企業向けの多種多様な業界向けシステムの構築に携わる。その後、ITコーディネータとして独立。

デジトレ診断の特徴

中小ビジネスの事例に基づいた診断体系



自社のデジタル活用度が数字でわかる



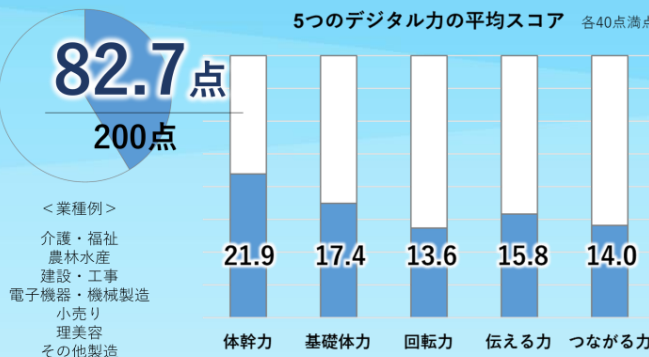
デジタルの導入とその使いこなしを採点



すでに1,000社以上の中小ビジネスでご利用いただいています。

5つのデジタル力の合計点数

5つのデジタル力の平均スコア 各40点満点



自社の現状を俯瞰する。

現在地を知ること、次の一手が見えてきます。

中小ビジネスで

自己診断によりDXをスピードアップ
製造業、サービス業、農業、福祉、NPO、行政、教育、家族経営まで

支援機関で

中小ビジネスからの相談窓口で
職員が適切にDXを一次サポート
専門家との連携もスムーズに

コンサルティング現場で

IT・DX、デジタル活用の
企業支援、セミナー・研修会
ですぐにご利用いただけます

これまでにデジトレをご利用いただいたお客様の声

デジトレ診断、大いに活用させて頂きました。最初は経営層と実務層の2名で診断し、結果に大きく隔たりが出たことから、あらためて全社的に診断を行い、全社の課題・チームの課題等の抽出ができました。経験年数・年齢層・性別・職歴などでもトレンドもつかむことができました。

(金属加工業 株式会社アクシス 代表取締役 古田様)

現場の担当者と一緒に診断してみました。現状認識のズレや温度感の違いが確認できました。現場と同じ方向を向いてデジタル活用を進められます。

(50代、経営者)

組織のデジタル化について定量的かつ客観的な評価を得られるため、デジトレ診断を中小企業のIT・DX戦略立案研修の自社分析に用いました。受講企業からは、今後の事業展開のための基準や目標づくりに役立つツールであるという声が多く寄せられました。

(支援機関 企画担当者 S様)

診断を通じてデジタル活用の全体像がつかめました。自分の立場からは見えない点があったことに気づけました。

(30代、経理責任者)